

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームはなの家

(ユニット名)

梅

記入者(管理者)

氏名

渡部 静佳

評価完了日

平成 20 年 10 月 2 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			事業者の理念を基に昨年ユニット独自の理念を作り地域と共に生活できるように実践してきた。		
			(外部評価)		
			「ぬくもりは我が家のように」という事業所の理念に沿って、ユニットごとでも職員が相談して、それぞれに理念を作成しておられる。		さらに、この機会を貴事業所が「地域密着型サービス事業所」として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて、話し合う機会にされてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			御利用者が安心して生活できるよう理念を復唱し日々取り組んでいる、又管理者は常々理念の大切さを職員に伝えている。		申し送り事項が多くなり時間がかかってしまうと復唱できなかつたりする日もあったので、理念を共有できるよう他にも考えたい。
			(外部評価)		
			各ユニットに、事業所の理念とユニットの理念が掲示されている。職員は、毎朝の申し送り時、理念を復唱されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			理念を玄関とユニット出入り口に掲示し、来訪者に理解してもらえるよう取り組んでいる。		地域のかかわりの中で、グループホームを理解してもらえるようにしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 町内のイベントに参加させていただいたり、地域の児童や民生委員さん、ボランティアさんなど立ち寄ってもらえる回数が増している。		地域のイベントを町内の役の方や民生委員さんより知らせていただいているので、出来るだけ参加するように努力している。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の敬老会、夏祭り文化祭など参加させていただいた。又事業所のはな祭りには地域の方が大勢来られ交流ができた。 (外部評価) 運営推進会議時、地域の情報を得て、行事に参加されている。又、事業所の外出の際、運営推進会議のメンバーの方が車いす介助に協力くださった。又、お茶の先生が、定期的に来られ、利用者とお茶を楽しまれている。地元小学校との交流も続いており、「ふれあいクラブ」の児童が、リコーダーを聞かせてくれたり、落語等も披露してくれる。		もっと地域の人々と交流できるよう努めていきたい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の高齢者との交流があまりなく、暮らしに具体的に役立ててない。母体の医師により認知症についてのセミナーを開催したりした。		地域の高齢者の方に、職員の日頃の知識や技術の中で、役立つことはないか考え取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 毎年一年を振り返り、職員個々で自己評価し、評価結果を参考に取り組んでいる。 (外部評価) 職員一人ひとりが自己評価に取り組み、日々行っているケアを振り返り、課題点や気付いたこと等をミーティングで話し合われた。前回の評価結果を受けて、玄関周りや近隣の散歩等、日常的に外に出る機会を増やされた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>運営推進会議で報告をして、意見を頂きサービス向上に活かしている。</p>		<p>運営推進会議で、家族さんより「この町で」の歌を歌ったらどうかと提案があったので、歌に手話をつけてはな祭りでも披露した。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(外部評価)		
			<p>会議時、民生委員の方や町内会長からの地域情報を得て、いきいきサロンへの参加や、ボランティアの受け入れ等につながり、利用者の暮らしが広がっている。又、家族会や同業者との交流も兼ね、会議が行われている。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>市の介護保険課、市社協の担当者とはかかわりを密にできており、相談にもものってもらっている。</p>		<p>市社協の研修には、なるべく参加して顔なじみの関係を作れるよう努力している。</p>
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	(外部評価)		
			<p>運営推進会議や法人全体で開催する「花まつり」等に参加いただいたり、支援のこと等について相談に乗っていただいたりしている。</p>		<p>新しい職員は理解できていないので、定期的に行う必要がある。</p>
		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>日常生活で職員同士話し合い、虐待を防止し、見過ごされることはない。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時にホーム内を見学してもらったり、わかりやすく説明して不安、疑問点を納得してもらっている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 御利用者や御家族との日頃の関わりで、不満苦情など気軽に報告してもらっている。 外部へ表せる機会を設けている。		自分自身で言えない方は、御家族の意見を尊重している。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族会や月に一回送る文書、来訪時に近況を報告したり、健康状態に異変があれば、速やかに報告している。 金銭管理は職員がダブルチェックをし、再度御家族に確認時チェックしてもらっている。		職員の異動については、御家族や御利用者にとって負担が大きいため、聞かれた時はその都度説明している。
			(外部評価) ご家族の来訪は頻繁にあり、大切なことは事業所に来られた時に、直接伝えるようにされている。月1回、請求書を送る際、金銭管理の報告や職員の異動等についても報告されている。最近では、ご家族と電子メールでの情報交換もされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会を年に三回開催しており、意見があれば言っていたり、来訪時やケアプラン説明時にも遠慮なく言ってもらえるようにしている。 苦情窓口は管理者がしているが、他の職員も受け付けている。		御家族にとって不満、苦情は言いにくいことである事を十分に理解し、職員は真摯に受け止め速やかに対応し取り組まなければならない。
			(外部評価) 家族会を年に3回開催し、家族同士で話し合う時間を持っておられる。さらに、日々のご家族の来訪時に、お話を聴くようにされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営に関する職員の意見等は、あれば相談しているが機会は少ない。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 日中食事の職員を増やしたり、行事のある日は、いつもより職員の数を増やしている。 管理者は、夜間や緊急時対応できるようにしている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員はユニットごとに決められているものの、他のユニットの御利用者とも日頃行き来し、顔なじみとなるようにして、御利用者へのダメージを最小限に抑えている。		
			(外部評価) 行事の際や日常的にもユニット間で行き来があり、利用者、職員は顔を合わせることが多く、ユニット間での異動は、利用者への影響は少ないと考えられている。各ユニットで職員の写真と名前を掲示されている。		
5.人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 管理者は、研修を受ける機会がある度、職員に進めている。		
			(外部評価) 外部研修の案内は、ミーティングで職員全員に伝わるようになってきている。受講希望者は、交代で参加されており、「全国大会」や「四国フォーラム」にも出席された。研修時等で得た内容は、ミーティングで発表し、報告書を提出するようになってきている。		管理者は、研修に消極的な職員が意欲低下やレベル低下にならないよう、研修受講等を促していきたいと話しておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)			
			地域抱括センター勝山地域のグループホーム研修、相互研修に参加したりして、交流する機会や情報交換し、サービス向上をさせている。			同業者と交流し、お互いに良いところを取り入れるようにしたい。我がグループホームでもいもたぎに招待をした。
			(外部評価)			
			地区のグループホーム7事業所が、お互いに運営推進会議に参加し合われたり、定期的に情報交換をされている。グループホーム協議会の相互評価事業では、民家改修型の懐かしい雰囲気のグループホームを訪問され、今度は、利用者も一緒にうかがいたいと話しておられた。			
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)			
			管理者は、職員の希望の日にできるだけ休みをとってくれたりしている。年に二回ビアガーデンや忘年会を催しストレスの軽減になっている。			
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)			
			管理者は、職員の資格取得のため協力して下さっている。			
安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)			
			御本人より面談の時から話を傾聴し、受け止め信頼できるよう努力している。又、分らないことができれば電話でも対応し、御本人より聞くことができない場合は御家族より聞いている。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ホームの見学や、御家族の相談の時は話を傾聴し、受け止め信頼関係ができるよう努力している。又わからないことができれば電話でも対応している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談を受けた時、必要な支援は何か見極め他のサービス利用も含め対応している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) サービスを利用するときは、御家族と事前に相談しながら利用している。 (外部評価) 入居前には、できるだけ利用者に見学いただくようにすすめられている。又、管理者がご本人を訪ね、関係作りをされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日常的な会話をしたり、楽しみ事や家事を一緒にできるようにして支えあう関係を築けるようにしている。 (外部評価) 利用者から「ありがとう・おいしかった」の言葉をいただく時等、職員は嬉しく、やりがいを感じると話しておられた。南予に住んでおられた方から「冷汁」の作り方を教わったり、お好きな演歌歌手の歌を教えてください、一緒に歌うこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 来訪時には御利用者の近況を伝えたり、FAXやメールで連絡を取り合ったりして、共に支えあう関係を築けるようにしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) これまでの生活歴や家族関係を、センター方式を利用し記録してもらい把握できるようにして、よりよい関係づくりに努めている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 御家族以外にも親戚、友人の方より電話や面会があるその際には、また来所していただけるよう声かけをしている。		行きたい所への支援は御家族と相談し実行できるようにしたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 御利用者同士体調を気遣ったり、集まる時間には楽しく過ごせるように努めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 亡くなられ、退所された方の御家族に、はな祭りに来ていただいたりした。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	(自己評価)		
			<p>希望や意向を自ら訴えることのできる方が少ないが、日常生活上で、本人本位になるよう職員間で相談している。</p>		御家族にも希望がかなえられるよう相談している。
			(外部評価)		
			<p>入居時には、ご家族からご本人のことについてお聞きし、入居後は、事業所での様子や会話の中から思いを知ることができるよう努めておられる。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>御家族にセンター方式のシートに入居前の様子を記入していただいたり、御本人や御家族にお聞きしたりしてこれまでの暮らしを把握している。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>御家族、医師の意見を取り入れ一ヶ月に一回ミーティングで日頃の様子観察したことを話し合っている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	(自己評価)		
			<p>介護計画見直し時には、御利用者の状態にあわせて無理のない暮らしになるようなプラン作りをしている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>介護計画は、ご本人、ご家族からの聞き取りをもとに、職員の気付き等を探り入れ、原案を作成し、ご本人、ご家族に意見をいただくようにされている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			御本人の状態を重視し、月に一回の介護計画の評価、三カ月に一回見直し、その期間内でも臨機応変に変更している。 介護計画作成時には、原案を御家族とカンファレンスし意見を聞いている。		
			(外部評価)		
			月1回の職員カンファレンス、3ヶ月に1回の評価と見直しが行われている。又、状態変化があった場合には、その都度見直しがなされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々、個別に記録して申し送り情報を共有している。チェック表に記録し、具体的にできているか見直している。		御利用者の話した内容を記録し、様子を鮮明にわかるようにしたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			母体の病院なので緊急事態になった時も、速やかな対応ができています。		新しい施設ができたので、そちらとも連携できる体制を取りたい。
			(外部評価)		
			お孫さんの運動会を見に、職員が同行されたり、選挙の期日前投票に行くことも支援されている。併設のデイケアの「踊りの会」を見に行かれることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域の民生委員、ボランティア、小学生の来訪があり御利用者も楽しませている。 運営推進会議には民生委員、消防に来所していただいている。		行動範囲が狭くなっているため、こちらから出向くことが困難になっているが、協力していただけるよう努力する必要がある。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 御本人や御家族の意向や、必要と思える時は了解を得てから、地域の介護タクシー、移動理容店、マッサージに来てもらっている。		他にもっと利用できるサービスを把握し、利用できるようにしたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議やホーム内で問題が出た時は、相談し協力してもらっている。 勝山地域でグループホームの集まりに参加している。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 母体の病院以外に受診された時は、家族より情報を聞いたり、病院医師の連絡書などで連携を取り支援している。 (外部評価) 母体病院の主治医から、週1回往診を受けている。眼科・歯科・皮膚科の訪問診療を受ける方もいる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 併設の病院の医師が日頃治療しているものの、より認知症の治療、検査が必要と思える時は他の医療機関を受診している。又、かかりつけ医がおられる場合は、そこで治療を受けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 各ユニット内に看護職員があり、介護職員と共に日常の健康管理をしている。又、母体病院の看護職員と連携が取れている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 御利用者が入院した時は見舞いに行き、様子を伺い一日も早く帰れるよう病院、御家族と相談連携を取っている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 御利用者が重度化した時点で、医師・御家族と職員が密に連携を取り、方針を共有している。 (外部評価) 現在は、病気の治療のため、入院を希望される方が多いが、「最期まで事業所で居たい」という希望があれば、希望に添うことができることを、ご本人やご家族に説明されている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 御利用者が重度化した場合、御家族と、相談状態を考慮しながら、少しでも本人にとって良い暮らしができるよう支援している。又、かかりつけ医にこまめに受信し治療している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 住み替え時には御家族、ケア関係者間で情報交換をして、本人が移り住む場所で安心して生活できるよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			プライバシーや個人情報は、常日頃より十分注意するように指導を受け、取り扱いを徹底している。		
			(外部評価)		
			トイレ使用の際、膝にタオルを掛ける等、羞恥心に配慮されている。利用者の状態等のことで、他の利用者の言葉で、ご本人が嫌な思いをされないよう、職員は、利用者の間に入って仲介をされている。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			思いを話してくれたり、表せてくれる関係になるよう日頃御利用者とかかわっている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			一人ひとりのペースに合わせ、できる限り御本人の希望に合わせるようにしている。		
			(外部評価)		
			朝ゆっくりされている方には、朝食の時間をずらしたり、介護度重度の方は、食事の時間が終わるとちょっと横になる等、その方の状態に合わせて支援されている。外出を希望される方には「敷地内の散歩だけでもできるように」と支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 着替えの際、自分で選ぶことのできる方には、選んでいただき理容はボランティア、移動理容所のどちらか選んでもらっている。中には職員が毛染めやカットしたり、御家族がカットしたりと自由に本人の望むようにしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) メニューを決める時、季節の物にしたり、御利用者の好みも取り入れるようにしている。 食事の準備や片付けは、できる範囲でお手伝いをしている。 (外部評価) 誕生日には、ご本人から食べたい物を聞き取り、回転寿司に行ったり、ご家族と一緒に外食する機会も設けておられる。右手に麻痺のある方も左手で食べられるように、道具や食器を工夫されていた。車椅子の利用者が多く、食事中にトイレに行かれる方もあるので、車椅子にて食事をされている。		車椅子を使用して食事される方について、テーブルとの高さや距離等、おいしい食事を楽しめるような配慮が期待される。又、食事時の職員の会話のトーン等についても、この機会に点検されてみてはどうか。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 飲み物や、おやつは御利用者の好みの物を色々用意している。 飲み物は欲しいと望まれる時はいつでも飲んでいただいている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄のパターンを一人ひとり把握しており、トイレを利用している。トイレでも排泄できるよう支援している。		排泄の失敗を防げるよう、より細かな職員間で観察ができるようにしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴はあらかじめ決めているものの、入るか入らないかは本人の意思に添っている。又、体調に合わせている。		中には入浴を嫌がったり、体調が不安定な方もいるのでタイミングを見て入浴している。
			(外部評価)		
			入浴されない日でも、足浴されたり、ピー玉で足裏のマッサージの効果を得る等されている。入浴を嫌がられる方とは、職員と一緒に入浴されたケースもある。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			一人ひとりの体調や希望、生活に合わせ無理のないよう部屋で休息していただいている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			できる範囲でお手伝いをさせていただき、張り合いにしてもらったり、お誕生会には御家族を招待して、一緒に過ごしてもらえるよう支援している。		御利用者のADLが下がり、できる事が少なくなっている。その中で楽しみを見つけていきたい。
			(外部評価)		
			今年、事業所主催のミニ運動会を開催し、利用者には選手宣誓をしていただいたり、ゲームで楽しい時間を過ごされた。利用者は、片付けやゴミ捨て・新聞取り等、それぞれできることをされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			職員がおこずかいを預かっている。希望のものがあれば買い物時使っている。御利用者自身がお金を所持してお買い物できる方が現在はいない。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			体調の良い時は散歩、ホームの周りや買い物へ出かけるようにしているが、あまり外に出たがらない御利用者もいる。		散歩に適している場所が少ないので、工夫して何とかならないか検討したい。
			(外部評価)		
			事業所は、市街地にあり事業所の前にあるホームセンターへ出かけたり、敷地内を散歩されている。時々、花を見に出かけたり、外食に行かれたりもされている。		さらに、外出しにくい方等も外出を楽しめるような支援の工夫が期待される。ご本人やご家族の希望等も聞き取りながら、利用者個々の暮らしを拡げていけるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			御家族より出かけたところの相談があれば、実現できるよう支援しているが機会は少ない。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話がかかってきた時は、本人がなるべく出ている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも気軽に来訪していただいている。来訪時には挨拶を忘れず笑顔で接待し快く過ごしてもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束について職員は理解し、拘束はしていない。入所以前に、ベッドより転倒された経験がある御利用者の御家族の希望により二本柵をしている方が一名いる。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵をかけていないが、夜間は防犯のため施錠している。 (外部評価) 日中は施錠しておらず、エレベーターを利用される方もいる。玄関横にある事務所の職員も、見守りをしてくださっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員間で所在(居室、トイレなど)や、様子を確認しながら見守っている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要なものを扱う時は、職員が見守りをしている。又、危険なものは決まった所に保管している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故発生しないよう、一人ひとり気をつけている。又、発生した場合には再発しないよう話し合い検討している。		誤薬に関しては二重三重にチェックしている。転倒では、履物、見守りの徹底をしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急の事故や心臓マッサージ訓練は定期的に行っている。又、事故発生時マニュアルがある。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の指導のもと、御家族も参加して火災訓練を行った。 (外部評価) 運営推進会議時に避難訓練を行い、ご家族も参加された。「やってみないと分からないことがある。」という感想もあった。消防署の指導のもと、新たに災害対策マニュアルを作成された。		消防署指導のもと病院、デイケアなど全体でも連携した訓練をしたい。 近日中に、事業所独自で夜間を想定した避難訓練を行う予定となっていた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 入所時には、御家族と話し合いながら、対応策を決めている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 朝と入浴時には血圧、体温、様子を見ている。又、日常生活の中でも体調に異変があれば速やかに報告し対応している。 職員にも申し送っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬が出た場合は処方箋と申し送りがあり、確認できている。 服薬時にはダブルチェックし事故防止に努めている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 薬に頼ることなく、排便を促す飲食物を取り入れている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、必ず口腔ケアをして清潔保持と、状態を点検している。 口腔ケア時できることはしていただいている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、摂取量の確認、チェックして一人ひとり少くならないよう工夫して確保している。 極端に少ない方は医師と相談しながら支援している。 (外部評価) 貧血気味の方には鉄分の多い食事を心がけ、利用者の体調や状態に合わせて、食事形態を変えて支援されている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症は日頃うがい、手洗いを実施している。 感染した場合は他者に移らないようにしている。		結膜炎が一時期感染してしまった。この時は見直しをし、手洗い、タオル交換を徹底した。 ノロウイルス対策も徹底できた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>台所調理用具の毎日消毒をして清潔を保ち、新鮮な食材を使用している。</p>		<p>日頃頻繁に使わない食器や食材が、知らぬ間にたまっていたりするので定期的に整理し、清潔を保ちたい。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>母体病院の奥にあるので、近隣の方にはわかりづらいと思われるが少しずつ来訪者が増えている。 玄関周りに花やベンチを置き、一息できる場所を作っている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>キッチンより、食事作りの匂いが漂っている。 季節の花を植えたり、音楽をかけたりして、居心地よく過ごしている。 西日が当たる部屋は遮光カーテンを使用している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関やテーブルにお花を飾り、壁には古いレコードジャケットがディスプレイされ、懐かしい曲が流れていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビングソファでくつろいだり、テーブルで雑談したり自室で過ごしたりしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居時に、なるべく使い慣れたものを、持ってこれるよう御家族にお願いして、居心地よく過ごしていただいている。		
			(外部評価)		
			利用者それぞれにタンスやベッドを持ち込み、一人ひとり個性のある居室になっている。管理者は、「病室みたいにならないように」との配慮から、入り口には暖簾をかけられており、ご自分の部屋が分かるようにされていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			外気温に合わせて、窓を開閉したり、換気扇を回しエアコン調整をしている。 冬は床暖房を使用し、御利用者が不快にならないようにこまめに行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			バリアフリーとなっている。 御利用者の必要な場所には手すりを設置している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			浴室やトイレはわかるようにしている。時に場所がわからなくなる御利用者には、戸惑っていると思える仕草が見られた時にさりげなく誘導している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			車いすの方がほとんどで、以前のようにベランダに出る機会がなくなっている。 外周りは駐車場となっているので、ゆっくりとは過ごせない。		車いすでも、ベランダへ出れるよう工夫する必要がある。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	入居時の情報や日々の暮らしの中や、御利用者や御家族との会話で思いや願いをほぼ把握している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	勤務の状態によって、ゆったりと過ごすことができないことがあるが、共に洗濯物をたたんだりするときや、歌を歌ったり、散歩の時などは会話を楽しんでいる。昼食後は比較的ゆったり過ごせている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調や状況に合わせて起床、食事時間は御利用者にあわせている。無理のないよう一人ひとりのペースにあわせている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日頃職員は、声かけを御利用者にあわせ、表情が明るくなるように心がけている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	御利用者の中には体調が悪くなかなか外へ出られなかったり、もともと戸外出るのが嫌な方もおられたりするので、体調を考慮しながら上手に外に出られるよう対応している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	定期的に週一回の往診と、毎日健康管理し、異変があった時は速やかに併設の病院で対応できる。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調の悪い時、良い時、気分の乗らない時など表情、行動などその時々々の状況にあわせている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	来訪された時には必ず声をかけ近況を報告したり、相談にもできる限り応じている。介護計画立て替え時にもよく話し合い信頼関係ができるよう努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	小学生や民生委員さん、ボランティアの方の来訪が少しずつ増えてきている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ①大いに増えている ② 少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	昨年より運営推進会議を通して、地域の行事やいきいきサロンに参加させてもらったり、ボランティアに来ていただく中で、理解者や応援者が増えてきて下さっている。
98	職員は、生き生きと働けている (自己評価) ①ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	御利用者の介護度が高くなる中で、意向に添えられるよう職員間で連携しながら働けているが体力的な負担が大きくなっている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	御利用者の意思を尊重しつつ支援している。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない	来訪時、御利用者の事を相談したり、何か気づいた事は遠慮なく伝えていただけるよう声かけし対処している。又、電話やメールでもさせてもらっている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・(梅)フロアは現在、要介護度平均4.3、90歳以上の方が5名、身体、認知、医療介護度が増してきています。その中で理念に向かって、いきいきと笑顔が見られるような暮らしを支援していこうと頑張っています。
- ・体調に異変があれば母体病院との連携が取れており、速やかに対処ができている。母体病院に新しく泌尿器科ができたので、医師の数も増えたことでより一層医療体制が安心できる。
- ・眼科、皮膚科、歯科、マッサージなど通院できない御利用者へは訪問診療をしていただいております、母体病院専門外の病気に対応している。
- ・緊急時は夜間や休日でも速やかに対応できる体制がある。
- ・運営推進会議で、地域の方の理解や支援を受けられながらも、関係が広がって深まってきている。